

2021年3月7日(日)上福岡教会 Cs中高科礼拝

## 再臨の約束

今年の教会学校のテーマは「光の子として歩もう イエスさま 来てください」と決まりました。今朝の中高科はこのテーマを覚えながら聖書のメッセージを聴きましょう。

今朝の聖書 テサロニケの信徒への手紙一5章4～5節

「しかし、兄弟たち、あなたがたは暗闇の中にいるのではありません。ですから、主の日が盗人のように突然あなたがたを襲うことはないのです。あなたがたはすべて光の子、昼の子だからです。」

世界中で大きな地震が起こっています。2011年3月11日の東日本大震災からちょうど10年。地震と津波で突然大切な家族を失ってしまった人々。10年が過ぎた今も東北の海の底にもぐって家族を捜している方々もいます。また、コロナ感染が世界中で起こり苦しみが襲いかかっています。首都圏の緊急事態宣言も延長になりました。みんなもこの1年、いろいろ苦勞したのではないですか？ ワクチン接種も始まっていますが、これからいったいこの世界は、私たちは、いったいどうなるのだろう？ と不安になりますね。

このような世界とその中に生きる私たちに聖書が与えられ、罪人を救う神様の救いの計画を知ることができました。この世界と人々を救ってくださる希望。イエスさまが私たちの救いのためにこの世界に誕生し、十字架の苦しみを受けて、死から復活し、天に昇られ、神様の右に着座し、救いを完成されました。そして、再び来られます。このことを「再臨」といいます。「あなた方を離れて天にあげられたイエスは…またおいでになる。」(使徒言行録1:11)。でもそれはいつでしょうか？

「その日は盗人が夜やってくるように…」と言われていています。地震、泥棒、みな突然ですね。あの東日本大震災も突然襲ってきました。そのためこの10年、災害に備えていろいろ準備するようになりました。光の子たちも準備します。その日を怯えて待つようなことはなく、心の目を覚まし、その日がいつ来てもよいように希望をもって備えていくのです。備えるって？ いったいどうしたらよいのでしょうか？

それは「神様のみ言葉を聴いて礼拝を捧げて生きていく」ということです。毎週の日曜日のことを「主の日の礼拝」といいますね。「主の日」は「イエスさまが再び来られる日」。ですから、私たちは毎週日曜日、イエスさまが再び来られる日を待ち望んで礼拝を捧げているのです。神様が一人ひとりの光の子を愛してお招きくださっています。今私たちは礼拝に招かれています。神様を心から信じ、光の子として生きるように招かれています。

光の子たちは、自分の罪からの救い主イエスさまを信じ、これからも主の日礼拝を捧げ、備えていきます。礼拝では神様の前に立たされる最後の審判の時が怖い恐れの時ではなく、救い主イエスさまがおられる恵みの時であることを感謝して覚えることができます。

祈り「愛する神様、救い主イエスさまが再び来られる約束をいただき心から感謝します。今週も心の目を覚まし、日々祈り、希望をもって生きることができるよう。イエスさまのお名前によってお祈りします。アーメン。」